

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 15 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 11 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Universita Ca' Foscari Venezia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語・英語/英語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月～11 月 2 学期: 11 月～1 月 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	3 年
創立年	1868 年 8 月 6 日

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 160～165 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	交換留学のため
宿舍費	1850	円	370€×5ヶ月分
食費	1460.09	円	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	70	円	10€×5ヶ月分 初月のみ 30€
現地交通費	177.05	円	1ヶ月 25€ (☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	521.28	円	
旅費(留学中)	1946.95	円	
被服費	726.99	円	
医療費	0	円	
保険費		66,730 円	形態: 東京海上日動
渡航旅費		243,870 円	カタール航空
ビザ申請費		0 円	
雑費	160.15	円	日用品など
その他	355.44	円	土産費など
その他	118.45	円	滞在許可証
合計 ※現地通貨 および 円	7316.4€ (=1,192,573 円)	310,600 円	1€=163 円 計算
総計(A+B) ※円		1,503,173 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：マルコポーロ空港 経由地：ドーハ

復路 出発地：マルコポーロ空港 目的地：成田空港 経由地：ドーハ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：カタール航空
料金：243,870 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☒ 旅行代理店(店名：HIS)

☐ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：CX VENICE | Mestre Campus & Hotel) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の Housing Office と連絡を取り合った

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮というよりホテルなので、非常に清潔感があった。週に 1 度の清掃や、タオル、シーツ交換などのサービスは充実している。寮が主催するイベントが定期的に行われたり、学生達が集まり毎日パーティーを開いているので、非常に楽しく、異文化交流を通じ友達が容易に作ることができる。他にも自習室や小さいジムもあり、スーパーも近いので生活する分には苦労はしない。懸念点を上げるとすれば、メストレ地区に位置しているため、駅前の治安が悪いということと、寮のレセプションの人たちがあまり仕事熱心ではなく、何かと Fine を取ってくることだ。しかし、夜危ない時間帯でも駅前を避けて通ったり、集団で行動すれば危険にさらされることは少ないと感じた。またレセプションの言うとおりにするのではなく辛抱強くやりとりを続けることで、余分な Fine を支払わせられる必要もなくなると思う。総じて、友達も沢山でき毎日刺激ある楽しい生活を送ることができたので、非常に良い寮であった。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地で生活している友達や、寮で自分よりも前に生活を送っている友達から危険地域情報を教えてもらっていた。防犯対策としては、荷物を常に自分の側で keep するなど基本的なことで十分だった。自分は半年間で 1 度も被害には遭わなかったが、バスでパソコンを盗まれた友達もいたため、常に交通機関を利用するときは注意した方が良いと思う。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

TIM という会社の eSIM を使っていて、イタリア国内に限らずユーロ圏もほぼ問題なく使うことができた。寮には Wi-Fi があり、利用していたが上層階に行けば行くほど接続は弱くなった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡航前にソニー銀行を開設し、無料期間に日本円を€に変え外貨預金をしていた。基本的にはソニー銀行のデビットカードを利用し、現金しか利用できない店もあるので、現金も一応 50~100€は常に持ち歩くようにしていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
GEOGRAPHY FOR TOURISM DESTINATIONS (ENGLISH)	
科目設置学部・研究科	Hospitality Innovation and E-Tourism
履修期間	12 週間
単位数	9ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 3 回
担当教授	Sabrina Meneghello
授業内容	観光地理学を様々な観光地の事例を通して学ぶ。最初に経済地理や政治地理と観光との関係や観光システム、観光の種類など基礎的なことを学んだ。後半は観光資源や地域資源、観光活動の変遷、気候変動など観光がいろいろな側面に与える影響を学んだ。終盤は、プレゼンテーションに向けて、持続的な観光の実践や将来のトレンドについて考察した。
試験・課題等	校外学習、プレゼンテーション、期末試験
感想を自由記入	元々ツーリズムマネジメントに関心を持ってこの講義を受けたが、地学的観点からのツーリズムも非常に面白かった。個人的には、Destination に行くためには Push と Pull の Factor があるという話が面白かった。自分のようにツーリズムを始めて勉強する人でもわかりやすいように、言葉の定義から学ぶことができた。グループワークを通して生徒間で交流できるのも皆で主体的に授業に参加している感が良かった。テストは全て Writing であり、単元ごとに復習していれば問題なかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
DATA ANALYSIS FOR TOURISM		
科目設置学部・研究科	Hospitality Innovation and E-Tourism	
履修期間	7 週間	
単位数	6ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 4 回	
担当教授	Paolo Girardi	
授業内容	確率と統計の基礎を実践的に学ぶ講義。前半にデータのグラフ表現や記述統計として母集団、標本、相関、回帰分析などを学んだ。中盤には確立の基本概念や確立分布を学習した。後半には統計的推測として、標本分布や平均、分散の推定、信頼区間、仮説検証、P 値への理解を深めた。	
試験・課題等	期末課題、期末試験	
感想を自由記入	統計学初心者でこの講義を受講したため、非常に難しかった。Tourism というよりは完全に統計学に振り切っているため、統計学の知識をあらかじめつけてから講義に出た方が講義への理解度も上がったと思う。期末試験はかなり難易度は高いが、しっかりと準備をして対策をすればパスできると感じた。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

コンサルティング業界

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

自分は留学中に就職活動を勉強に差し支えない程度で行っていた。時差があるため、なかなか全てのセミナーや説明会に参加することは厳しい。帰国するまでに ES 対策や SPI、TGweb などのテスト対策、面接対策をしておくことで、帰国後に焦って始める必要はなくなると感じた。自分は早期選考で受ける数を絞ることで、留学生活も楽しむことができたので、留学中は留学での生活を優先して楽しんだ方が良いと思う。また、ヨーロッパに留学している学生でもボストンキャリアフォーラムに参加し内定を取ってきた友人も居たので一つの選択肢として考えてみても良いと思った。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ～ 12 月	出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学先決定
	4 月 ～ 7 月	ビザ取得、航空券購入、
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学をするに当たり、勉学での成果に加え、プライベートも充実させたいという思いがあった。そのため、欧州に位置し、かつ世界的にも有名な都市に構えるヴェネツィア大学を志望した。また、日本語学科が設置されており、インターンシップという形でボランティア活動ができるという点にも非常に魅力を感じた。私は、国際日本学部にて、日本語教育学(音声)を学習した経験があり、日本語自由会話の講義に何か少しでも役に立ちたいという思いがあり、ボランティア活動に参加した。今思い返せば、このボランティア活動のおかげで留学生活が非常に充実したものとなったと感じる。毎週行われる自由会話の講義に、空いた時間を縫って参加し、1~3年、修士の学生など幅広い現地学生と交友関係を築くことができた。授業終わりには、クラスの皆で軽く食事やお酒を嗜み、休日には様々な場所に一緒に出かけた。仲間意識を非常に大切にしている文化があるため、最初の障壁が低く、数多くの友達を作ることができた。

留学先で自分の拠点をどこにするかという観点も非常に重要であると感じた。国際寮や、ホストファミリー、アパートなど様々な選択肢がある中、私は国際寮を選択した。この選択もまた大当たりで、多種多様な学生と交友関係を築くことができ、プライベートの充実にも直結した。寮で定期的にイベントが開催されたり、パーティーを常に誰かしらが開催しているため、毎日活気にあふれており、退屈だと感じたことは一度もなかった。アパートで数人の学生と生活している友人も何人かいたが、交友関係を広げることができ、日々刺激ある生活を送りたいという思いがある方は、国際寮をお勧めする。

EUの学生であるという特権も、欧州に交換留学する1つの魅力である。私はこの特権を活用し、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ、スペイン、ポルトガル、マルタ共和国など西欧州主要各国に、休日を活用して旅行した。EUの学生ビザを取得しているため、EU圏内であれば自由に移動することができ、かつ、美術館など商業施設を利用する際には学生割が適応される。実際にパリのルーヴル美術館やオルセー美術館などは無料で鑑賞することができた。色々な世界をみてみたいという方や、新しい場所を開拓したい、そもそも旅行が趣味であるといった方であれば、欧州への交換留学は非常にお勧めである。

総じて、学習面や生活面含めて充実した非常に楽しい留学生活を送ることができた。何かに特化して学ぶというよりは、幅広く自分の興味ある分野について学習してみたいといった学生や、旅行や遊びなどプライベートも充実させたい、ボランティアなど何か人のために活動したいという学生には、ヴェネツィア大学は非常にマッチしている大学であると思う。

私自身、明治大学から1人だけということもあり、留学当初は非常に不安であったが、そのような学生でも馴染めるよう、数多くのイベントが開催され、多種多様な学生と交流できる機会が多く設けられている。積極的に参加したり、話しかけたりすることで留学生活はより充実したものになると思います。主体的に何事にも取り組み、自分らしく貴重な留学生活を楽しめることを願っています。